

kubotatu

look for the 21st century hero
and cross America on a motorcycle!

新連載

くぼたつアメリカ大陸横断録 ①



世紀のヒーローを求めて

「自分で下手なプログラム書いてたころのビル・ゲイツとか、
ガレージの中でなけなしの金はないて
マックの原型作ってたスティーブ・ジョブスとか、
“兆しの人間”と時空を共有してえんだよ」

ヤマハの大型バイク「DS11・Road Star」でアメリカ大陸を横断しながら、21世紀のヒーローを探す。“くぼたつ”こと久保田達也の壮大で個人的な計画がスタートした。ノートPCからデジカメ、DV、衛星電話まで、ありとあらゆるモバイルグッズを携えたくぼたつが、「ソーラーマン」や「ナビホインディアン」に会いに行く。現地で彼が撮影した動画や写真はインターネットで日本に送られ、ヤマハとインプレス、そして自身が運営するウェブサイトに掲載される。
しかし、この連載では「モバイ

子供のころ両親は洋服屋をや
つて、毎日夜遅くまで働いてた。
でも、土曜日の夜だけは部屋中に
布団を敷いて、親父とお袋と妹と
オレと愛犬レオで、家族そろってテ
レビを見た。当時、数少ない番組
のなかで、白黒の「ローハイド」を
見ているときが本当に幸せだった。
このころに、大人になったらアメリ
カの荒野を旅するっていうイメージ
が、完全に自分の中に入ってしまった
んだと思う。そのあとも、中学
3年のころには「用心棒」、20歳に
なつてからは「さすらいのライダー」
にあこがれた。一匹狼で、正義の
味方で、みんな旅してる。今回あ
つらえた黒い皮ジャンは、さすらい
のライダーのロビンソンを意識して
る。カメラは用心棒の拳銃。もち
ろ、バイクは「馬」だよ。

社会人になつてからはそういう番
組はなくなつて、ヒーローも登場し
なくなつた。でも、40歳を過ぎて
自分の中をのぞいたら、いまでもヒ

ーローはウェーバーとフランコ・ネ
ロとブロンソンなわけ。だから、い
まこそ本当に荒野に立つて、バイク
に乗つてそこを走つて、土に触り
たいと思った。「ヒーロー不在」、
「21世紀不安」って言われるけど、
一番頼りになるヒーローは自分の中
にいて、20年前のあのかつこよさ
がよみがえつてきてる。

モンゴルでの出来事も大きいな。
子供を抱いているお母さんがいて
さ、橋の上ですれ違ったときにふと
見たら、子供のけつが青いんだよ。
ジーンとしたね。「やっぱり同じな
んだ」って。自分の中で失われて
しまった気力や生命力が呼び覚ま
された。「ここにいたんだ、オレは」
と思つたらすごく安心した。ローハ
イド見ながら、実はヒーローは自分
のアジア人としての血の中にあるん
じゃないかと思いがずっと前から
あつたんだよ。で、モンゴルから
日本に帰つてきたら、今度はある
民族学者が「モンゴル人のルーツ

はアメリカインディアンらしい」つ
て言うわけ。調べたら1万年前には
アメリカ大陸が北極につながつて
て、北極を超えてアメリカインディ
アンがモンゴルにやつてきたことが
わかつた。インディアンってオレの
先祖だったのよ。その瞬間にコン
プレックスが全部吹き飛んだ。アメリ
カがくしゃみすれば日本が風邪ひ
く、アメリカでヒットしないと日本
でもだめ、月に行つたのはアメリカ
人とか、ハンデだと思つたことが
全部なくなつた。これはもう行くし
かないでしょ。行つてね、「1万年
ぶりだね」って話して「オレたちは
ここにいたんだもん」と感じあえ
ればいいと思つた。

向こうではマスコミが取り上げな
いような、まだ個人のレベルで孵化
してないものに触れたい。ビル・ゲ
イツが自分でキーを打つて下手な
プログラムを書いたところとか、ス
ティーブ・ジョブズがガレージの中
でなけなしの金でマックの原型を作

てるころとか、そういうところに行
きたいよね。マスコミが取り上げるよ
うなところはマスコミに任せればい
い。まだ注目を浴びるまでにいたつ
てない、成功する前の青い部分があ
る「兆しの人」たちといまの時間
と空間を一緒にしたい。そんな
感じだね。

ブレイクスルーしなかつたんだろ
うな。最近は何の情報見ても、つ
ぶれた、リストラ、先見えないう
て話でしょ。これがオレの経験上も
っとも危険。オレが企画マンとして
やつてこれたのは、常にアウトサイ
ダーでいたからなんだ。日本の社会
の中にどっぷりつかつていて日本が
見えない。海外に行くたびに、「あ
あこうやるのか」、「こう楽しくな
るのか」、「日本はまだまだたりね
えな」ってわかつて帰つてくる。それ
がおもしろいんだよ。

- 出発前日、原宿のオフィスにて -

「なんでオレがアメリカに行くかつて？」 why should I go to America?



久保田達也：サンリオ、東急ハンズ、電通などの企
画業務を歴任し、1983年に鞠イツツ設立。現在イ
ンターネットを使い、世界を探検する企画マンとして
21世紀の生き方の研究、執筆、講演活動中。99年
4月にニューポート・アジア・パシフィック大学より
博士号を贈られた。写真(左)は同大学のクラブ・
グラフトン博士と久保田氏。

kubotatu
look for
the 21st century hero
and cross America
on a motorcycle!

「くぼたつとインターネットの奇妙な関係」 he loves the Internet, he is the Internet

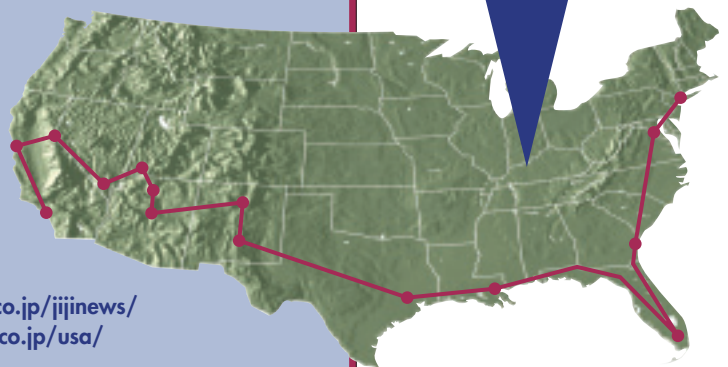
ル」に焦点を当てるつもりはない。
それよりも、くぼたつという人間が
いかに「インターネット的」である
かを伝えたい。テレビを見ながら育
つた世代が「テレビっ子」と呼ば
れたように、これからの子供は「ネ
ットっ子」と呼ばれるだろう。い
や、すでに私たちはネットっ子と
して生活し始めているのかもしれない。
それならば、インフラやサービスと
してのインターネットだけでなく、

人間そのものの「インターネット度」
を考えてみるのも面白いはずだ。

次号からは、帰国後の彼にアメリ
カ大陸で何を見て、何を感じた
かをじっくり話してもらおう。そこ
には必ずくぼたつ流のインターネッ
ト的な生き様が見つかるはずだ。

「21世紀のヒーローを求めて」関連URL

<http://www.kubotatu.com/>
<http://www.watch.impress.co.jp/jijinews/>
<http://www.yamaha-motor.co.jp/usa/>





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp